

News Release

2019年 8月22日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

自然災害をきっかけに発生する製品事故 ～関東甲信越における事故を中心に～

1. 関東甲信越地方の「自然災害をきっかけに発生した製品事故」

（1）発生年別事故発生件数と被害状況

2009年から2018年末までの10年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で「自然災害をきっかけに発生した製品事故」は31件ありました。「自然災害をきっかけに発生した製品事故」について、関東甲信越地方の都県別の発生年別災害別事故発生件数を表1、災害別被害状況別事故発生件数を表2、災害別製品別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

表1. 発生年別 災害別 事故発生件数

発生年	災害事象	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
2009年	-											0
2010年	-											0
2011年	地震		1		1		2					4
	強風				1							1
2012年	強風		1									1
2013年	地震	1										1
2014年	雪			1	8	2	11					22
2015年	-											0
2016年	-											0
2017年	-											0
2018年	雪						1					1
	強風			1								1
合計		1	2	2	10	2	14	0	0	0	0	31

表2. 災害別 被害状況別 事故発生件数^{※2}

災害事象	被害状況	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
強風	拡大被害		1	1	1							3
雪	拡大被害			1								1
	製品破損				8	2	12					22
地震	拡大被害		1		1		2					4
	製品破損	1										1
合計		1	2	2	10	2	14	0	0	0	0	31

※2 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表3. 災害別 製品別 事故発生件数

災害事象	製品名	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
強風	照明器具		1	1	1							3
雪	ガスふろがま			1	8	1	10					20
	ガス給湯器						1					1
	電気ポンプ					1						1
	石油ふろがま						1					1
地震	ガスこんろ				1							1
	テレビ						1					1
	スピーカー	1										1
	電気ストーブ		1				1					2
合計		1	2	2	10	2	14	0	0	0	0	31

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① 強風による事故（照明器具）

- ・ 2012年2月、群馬県、拡大被害

（事故内容）

照明器具及び周辺を焼損する火災が発生した。

（事故原因）

照明器具の近くにあったのれんが、強風にあおられて照明器具に巻き付いたことで検知センサーが反応し、点灯し続けたハロゲンランプの熱でのれんが加熱され、出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「布や紙など燃えやすいものをのせたり、燃えやすいものの近くで使用しない。火災の原因になります。」旨、記載されている。

② 地震による事故（ガスこんろ）

- ・ 2011年3月、神奈川県、拡大被害

（事故内容）

ガスこんろ及び周辺を焼損する火災が発生した。

（事故原因）

ガスこんろにはラックの倒れた形跡があり、トッププレート上には、ラック上にあつたと思われる紙類の燃えた跡が残っていたことから、事故発生当日に発生した地震の揺れのためガスこんろの正面にあつたラックが倒れ、ラックに載せてあつた物品がガスこんろ上に散乱し、ラックがガスこんろの点火ボタンを作動させたことで火災に至つたものと推定される。

2. 関東甲信越地方の「非常用グッズ^{※3}の誤使用又は経年劣化に関する製品事故」

（1）発成年別事故発生件数と被害状況

2009年から2018年末までの10年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で「非常用グッズの誤使用又は経年劣化に関する製品事故」は35件ありました。「非常用グッズの誤使用又は経年劣化に関する製品事故」について、製品別被害状況別事故発生件数を表4に示します。

※3 カセットこんろや携帯発電機など自然災害発生によりガスや電気が止まった際に使用される製品

表4. 非常用グッズの製品別 被害状況別 事故発生件数

製品名	被害状況	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
カセットこんろ	軽傷			1	1		5					7
	拡大被害		1	1	1		3					6
	製品破損				1		3					4
ライター	軽傷			1			2					3
	拡大被害		1				1					2
	製品破損			1	1		2					4
携帯発電機	死亡		1									1
	軽傷				1		2					3
ガスカートリッジ 直結型ガスこんろ	軽傷							1				1
	製品破損						1					1
乾電池	軽傷					1	1					2
懐中電灯	製品破損					1						1
合計		0	3	4	5	2	20	1	0	0	0	35

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① 非常用グッズによる事故（携帯発電機）

- ・ 2015年12月、群馬県、死亡

（事故内容）

物置小屋で携帯発電機を使用していたところ、一酸化炭素中毒で1名が死亡した。

（事故原因）

十分な換気がない屋内で携帯発電機を使用したため、排気ガスにより屋内の一酸化炭素濃度が上昇し、一酸化炭素中毒に至ったものと推定される。

なお、本体及び取扱説明書には、「排気ガス中毒のおそれがあるため、屋内など換気の悪い場所で使用しない。」旨、記載されている。

② 非常用グッズによる事故（ガスカートリッジ直結型ガスこんろ）

- ・ 2013年12月、東京都、製品破損

（事故内容）

カートリッジ直結型ガスこんろを使用中、ガスボンベが破裂した。

（事故原因）

セラミック付き焼き網を用いて調理していたため、焼き網からの輻射熱によってボンベが過熱され、破裂したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「過熱や爆発の危険があるため、焼き網等を使用しない。」旨、記載されている。

3. 自然災害をきっかけに発生する製品事故の再現実験映像について

以下の映像をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

（1）実験映像内容

- ① 風の影響でセンサーライト近傍の布が発火（2.（2）写真1）
- ② 地震で転倒したロッカーによる電源コードのショート（2.（2）写真2）

（そのほか）

- ③ 直結型カートリッジガスこんろの破裂
- ④ 地震による電気ストーブの火災

(2) 実験映像例

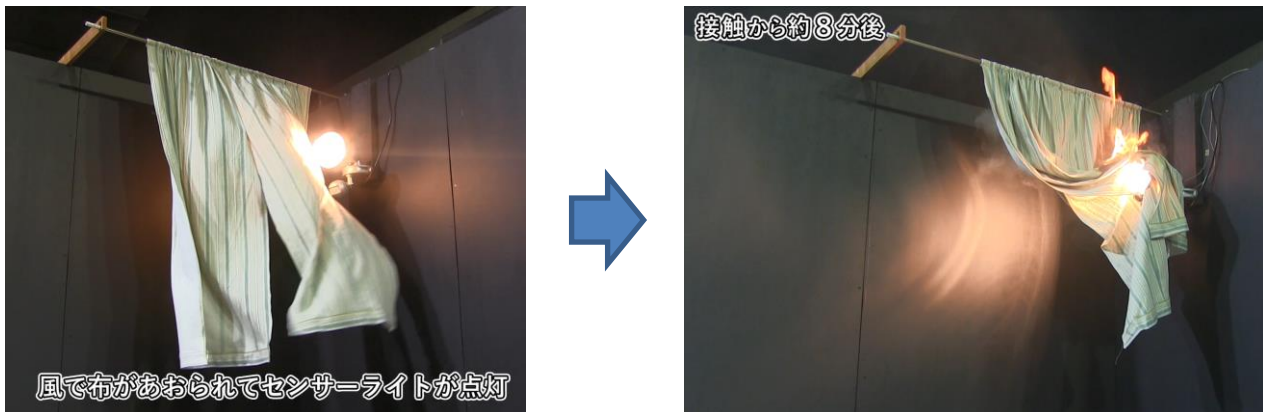


写真1. 風の影響でセンサーライト近傍の布が発火

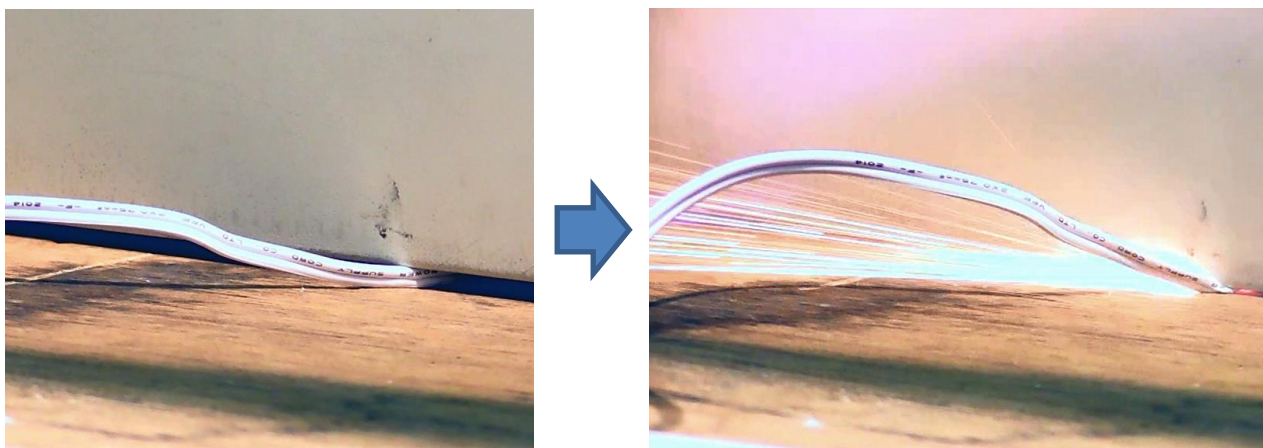


写真2. 地震で転倒したロッカーによる電源コードのショート

(本件に関する問い合わせ先)
 〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10
 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 技術業務課
 担当者：松本（まつもと），長谷川（はせがわ），佐藤（さとう）
 電話：03-3481-1820